

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長	森 明彦
都整-19 道路整備計画等運営事務		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	道路課
総合計画上の位置付け		分野	道路整備	施策の方針
				道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。
効果	交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備のあり方について検討を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	52	決算値(千円)	52	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	52	一般財源	52	
	人員配置数	0.2	人員配置数	0.2	
事業経費運営	人件費(千円)	1,587	人件費(千円)	1,697	
	総事業費(千円)	1,639	総事業費(千円)	1,749	
	市民1人当りの経費(円)	9	市民1人当りの経費(円)	10	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	中長期的な道路整備方針の策定にあたっては、将来的な交通体系や交通量等の予測が重要な要素であるとともに、沿道土地所有者の理解と協力が必要不可欠である。また、環境や景観への配慮についても考慮する必要がある。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	短期的な道路整備計画の中で、バランスのある取組みを進めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	都市計画道路の整備は財政負担が多く、沿道地権者の理解と協力が必要となる。しかし、理解を得るには多くの時間を要する。また、道路整備方針を策定するには、環境や景観への配慮に大きな課題がある。	
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 本事業は、県内市町村の相互の情報交換、研究会等を開催し、技術の向上を図ることなどを目的としている神奈川県都市計画街路事業促進協議会への負担金であり、積算根拠は人口を基準としていることから予算規模は現状維持とする。
総評	都市計画道路を整備するにあたり、関連部局との調整、財源の確保、周辺住民等の理解が必要であることから、神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備のあり方について引き続き検討を行う。また、その整備内容等について早い段階から市民へ提示することにより、その理解と協力を求める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	総人口(平成27年3月1日)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	173012	420294	237943	256540	194580	406027	32404	57715	45434
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉市の総人口						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金の一部は人口を基準とする平等割分担金であるため	目標値	174,301.0	174,198.0	173,980.0	173,655.0	173,232.0	172,708.0				
	実績値	173,448.0	173,223.0								
	達成率	99.5%	99.4%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	総人口の減少に伴い、税収及び道路事業費も減少が見込まれるが、神奈川県都市計画街路事業促進協議会の規定により分担金については、ほとんど変更がないと見込まれる。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--